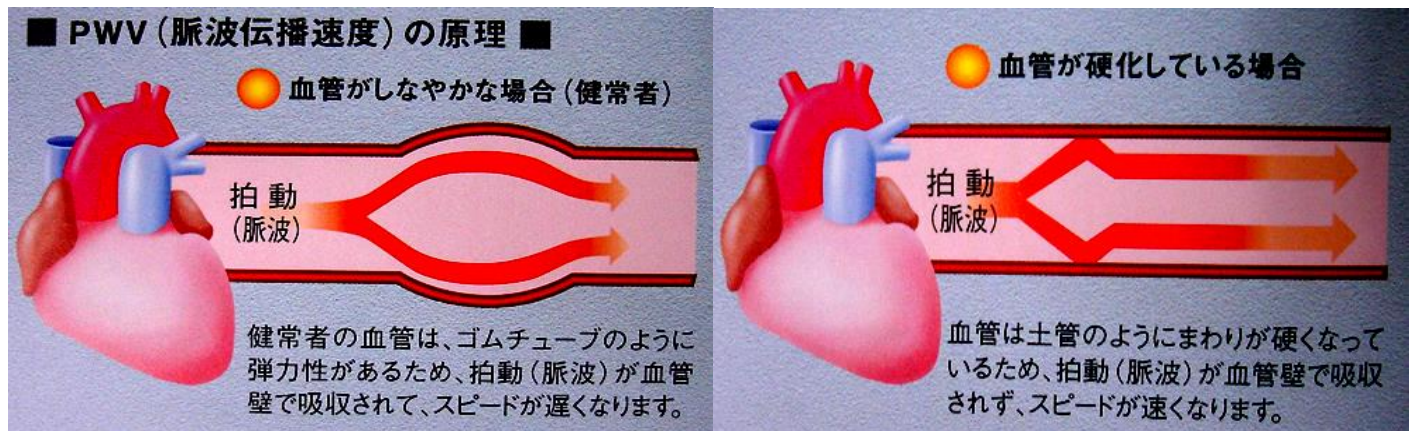


ご自身の血管年齢、ご存知ですか？

◆PWV とは・・・血管の『硬さ』を見る検査です。

脈波伝播速度のことで、心臓が収縮する衝撃（=波動）が血管内を伝わる速さを意味します。この値が大きいほど血管は弾力がなく硬い状態にあることを意味しており、高血圧・高脂血症・糖尿病・肥満・喫煙などの動脈硬化危険因子が増えると、
相関して増加することが確認されています。

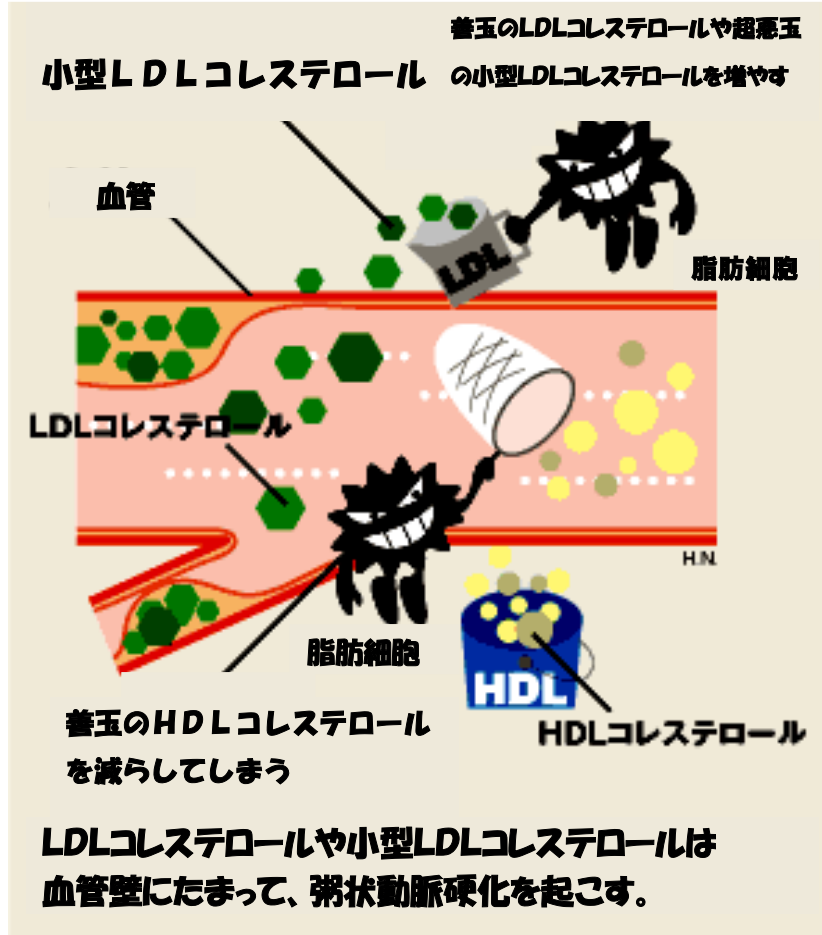


◆ABIとは・・・血管の『詰まり』を見る検査です。

足首と上腕の血圧の比で求められる値で、動脈の内膜にコレステロールを主成分とする脂質が沈着して内膜が厚くなり、粥状硬化ができて血管の内腔が狭くなる閉塞性動脈硬化症(ASO)の進行程度、血管の狭窄や閉塞などが評価出来ます。

足の冷感・しびれ・安静時痛・間歇性跛行（歩くと痛くなり、数分休むと痛みがなくなる）などの症状がある場合には血管の詰まりが疑われる為、この値を測定することが推奨されます。

コレステロールと動脈硬化の関係



※PWVとABIの値から、御自身の動脈硬化の状態（＝血管年齢）を知る事ができます。

◆検査方法は？

仰向けに寝た状態で、両腕・両足首の4箇所を同時に測定します。
検査時間は5分程度と短時間で血管の状態を知る事ができます。

※採血直後に検査してしまうと血が出てしまうことがあるため、しっかりと止血してから検査をします。

※雑音が混入する原因となりますので、検査時は動いたり喋ったりしないように気をつけてください。

